

山本大臣閣議後会見

平成26年4月15日

山本イニシアチブ 今年の知財戦略6本柱

1. 職務発明制度の抜本的見直し

2. 営業秘密保護の総合的な強化

3. 中小企業等の海外知財活動の支援の一層の強化

4. コンテンツの海外展開に向けた施策の総動員

5. アーカイブの利活用促進に向けた整備の加速化

6. 音楽産業の海外展開に向けたビジネスモデル再構築

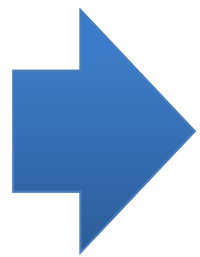
アーカイブに関するタスクフォース



タスクフォース設置の背景

これまで、アーカイブに係る取組は、流通する情報量の拡大のためのアーカイブの構築に重点。

一方で、我が国文化の海外発信や知的インフラ構築の観点からアーカイブへの期待が高まる中で、**継続的な取組の強化のためには、アーカイブの社会貢献（利活用）の明確化により、社会基盤として強化をしていくことが不可欠。**



本年2月末から4月初旬にかけて、**計4回のタスクフォースを開催**し、課題の抽出と取り組むべき施策を検討

(参考) タスクフォース委員

【議長】

中村 伊知哉 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授

【委員】

天野 ゆに子 (株)KADOKAWA 角川書店ブランドカンパニー
映像営業局 映像コンテンツ部 部長

井上由里子 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授

大場 利康 国立国会図書館 電子情報部 電子情報企画課 課長

華頂 尚隆 (一社)日本映画製作者連盟 事務局長

國谷 泰道 (株)DNPアートコミュニケーションズ 企画開発部
ライセンスグループ リーダー

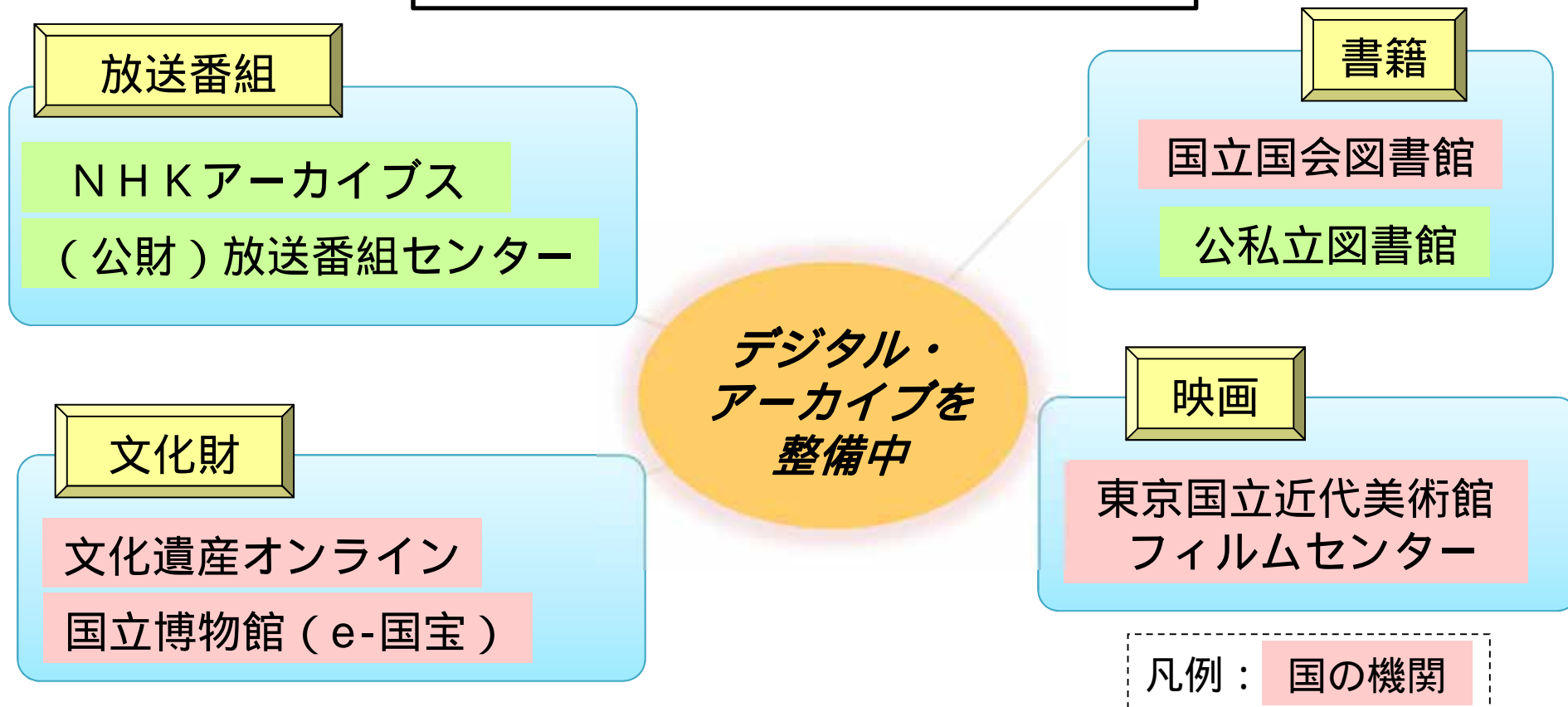
杉本 重雄 筑波大学 図書館情報メディア研究科 教授
同 知的コミュニティ基盤研究センター センター長

瀬尾 太一 (一社)日本写真著作権協会 常務理事

本田 牧雄 (一財)デジタル文化財創出機構 代表理事 (凸版印
刷(株)文化推進事業本部顧問)

タスクフォース報告書の概要

我が国の主なアーカイブの現状



アーカイブの利活用活性化により社会基盤として成長させる
好循環を生み出す

タスクフォース報告書の概要

戦略的な利活用を通じたアーカイブの活性化と基盤の整備

優先的な利活用の取組

2020年に向けた日本文化の海外発信と教育の情報化への対応

利活用に向けたボトルネックの解消



欲しいデータが
見つからない！

届きやすく、見つけやすく！

- 提供可能な情報の充実
- 複数アーカイブを一括検索

データが見つかって
もすぐに使えない！

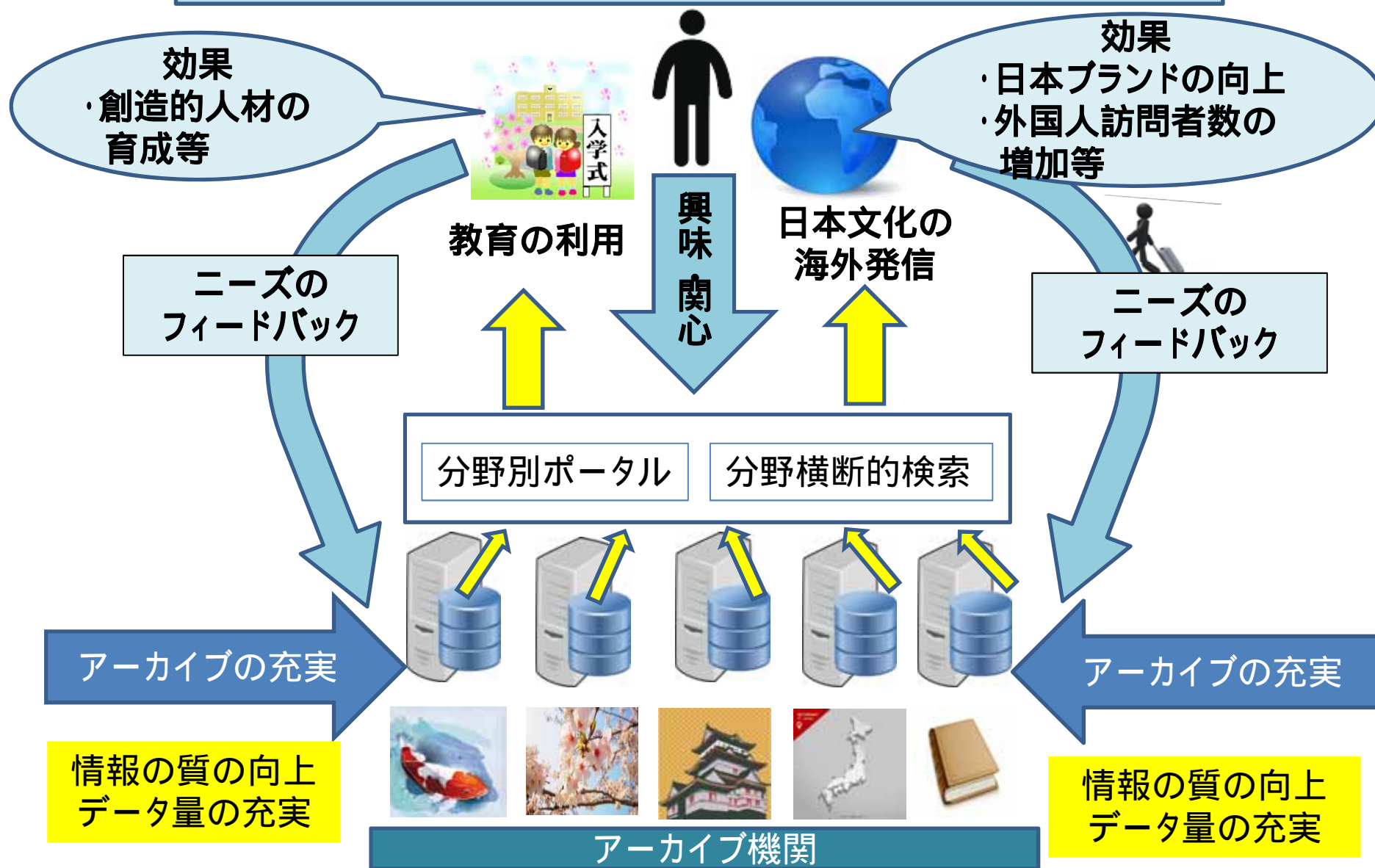
利用者の活動をしやすく！


- 権利処理の円滑化
- 利活用のサポート
 - ・ 人的サポート、相談窓口等の整備等

アーカイブ構築・充実に係る体制の整備や制度（著作権制度等）の改善

タスクフォース報告書の概要

アーカイブの利活用促進による好循環



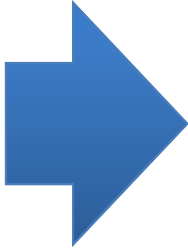


音楽産業の国際展開に関する タスクフォース

タスクフォース設置の背景

コンテンツの海外展開を一層促進するためには、**コンテンツ分野毎の状況や課題を踏まえた上で、よりきめ細かい対策を講じることが適当。**

海外展開の潜在性が高く、業界の取組も熟しつつある**音楽産業は、そのためのモデルケースとして最適。**同時に音楽産業は、国内でのCD販売や配信売上が減少しており、海外展開による収益源の確保が急務。



本年3月初旬から4月初旬にかけて、**計4回のタスクフォースを開催し、課題の抽出と取り組むべき施策を検討**

(参考) タスクフォース委員

【議長】

重村 博文 (一社)日本レコード協会 副会長
キングレコード(株) 代表取締役社長

【委員】

石橋 誠一 (一社)日本レコード協会 理事
(株)テイチクエンタテインメント 代表取締役社長

大石 征裕 (一社)日本音楽制作者連盟理事長
マーヴェリック・ディー・シー・グループ 代表

後藤 由多加 (一社)音楽産業・文化振興財団 理事長
(株)フォーライフミュージックエンタテイメント 代表取締役社長

龍村 全 弁護士、弁理士

谷口 元 (一社)日本音楽出版社協会 会長
エイベックス・ミュージック・パブリッシング(株) 代表取締役社長

中西 健夫 (一社)コンサートプロモーターズ協会 会長
(株)ディスクガレージ 代表取締役

堀 義貴 (一社)日本音楽事業者協会 会長
(株)ホリプロ 代表取締役社長

中村 伊知哉 検証・評価・企画委員会 座長

タスクフォース報告書の概要

「点」の取組を「線」「面」にし、現地ファン層を囲い込み
現地での「拠点」や総合的データベースの構築、メディアの活用等

2020年の東京五輪を機に、
日本の音楽を世界に発信



官民一体、業界全体で海外へ行ける「インフラ作り」

海外の権利管理団体の能力育成、海賊版対策の強化等

外国客の誘致

現地市場や外国勢の動向を徹底的に調査

欧米勢や韓国勢の戦略を把握し、マーケティングを強化

最初から海外を狙うアーティスト育成、ソフト作り

アーティスト、マネージャー、エンジニア等の育成

音楽を活用したインバウンドの促進

コンサート会場の確保、文化発信・エンタメの集積地作り